

試験区分：生物・生命科学 教室系

Q . 仕事内容を教えてください。

A . 研究業務および研究室の事務仕事を担当しています。内容は実験業務、薬品管理、実験機器のセットアップ、学生実習のサポート、書類業務、事務仕事などです。

Q . 研究者との違いは何ですか。

A . 私の場合、講座に所属している教室系職員のため、仕事内容は研究者に非常に近く専門職の濃い業務内容となっています。一方で職員としての大学業務もありますので、ポスドクのような研究者とはその点で異なっていると言えます。

Q . 取得しておいたほうがよい資格や知識はありますか。

A . 組み換え実験、実験動物、放射線実験、薬品管理等の仕事を受け持つため、これらの取り扱いに関する知識を身につけておく必要があります。大学の利用者講習もありますので、合わせて知識を固めておく必要があります。

Q . 二次試験の内容はどのようなものでしたか。

A . 面接形態は個人面接で所属することになる講座の先生を含め5名の面接官で構成されていました。面接ではこれまでの研究履歴について問われ、習得している実験技術に関して質問を受けました。また、一般の就職面接と同様、志望理由、長所と短所、勤務地についての質問がありました。

Q . どのような人材が求められていると思いますか。

A . 専門的な研究業務のみならず、大学の組織と連携の取れる人材が求められています。

Q . 研修制度について教えてください。

A . 大学規定の初任者研修のほか、学内共同利用施設等の利用者講習などがあります。また、放送大学の利用などにより、専門技術等に関する研修についても受講の機会があります。

Q . 人事異動はどのようになっていますか。

A . 本学医学部では、現在、教室系技術職員の組織化が行われておりませんので、所属教室からの異動はありません。職位については、毎年度実施される人事評価等により、技術職員から技術専門職員、技術専門員への昇進があります。

Q . 他機関との人事交流はありますか。

A . 特に希望しない限りありません。